

注意事項等情報改訂のお知らせ

武田テバファーマ株式会社
名古屋市中村区太閤一丁目24番11号

プロトンポンプ・インヒビター

日本薬局方 オメプラゾール腸溶錠

オメプラゾール腸溶錠 10mg「武田テバ」

オメプラゾール腸溶錠 20mg「武田テバ」

この度、標記製品の「注意事項等情報」を以下のとおり改訂致しましたのでご案内申し上げます。
今後のご使用に際しましては、電子化された添付文書（以下、電子添文）をご参照下さいますようお願い申し上げます。

1. 改訂内容（抜粋）

（削除箇所 下線：_____）

改 訂 後			改 訂 前																				
<p>2. 禁忌(次の患者には投与しないこと) 2.2 リルピビリン塩酸塩を投与中の患者[10.1参照]</p>			<p>2. 禁忌(次の患者には投与しないこと) 2.2 <u>アタザナビル硫酸塩</u>、リルピビリン塩酸塩を投与中の患者[10.1参照]</p>																				
<p>10. 相互作用 10.1 併用禁忌(併用しないこと)</p>			<p>10. 相互作用 10.1 併用禁忌(併用しないこと)</p>																				
削除→			<table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>アタザナビル硫酸塩</u> (レイアタツ) [2.2参照]</td> <td><u>アタザナビル硫酸塩の作用を減弱するおそれがある。</u></td> <td><u>本剤の胃酸分泌抑制作用によりアタザナビル硫酸塩の溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下することがある。</u></td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	<u>アタザナビル硫酸塩</u> (レイアタツ) [2.2参照]	<u>アタザナビル硫酸塩の作用を減弱するおそれがある。</u>	<u>本剤の胃酸分泌抑制作用によりアタザナビル硫酸塩の溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下することがある。</u>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>アタザナビル硫酸塩</u> (レイアタツ) [2.2参照]</td> <td><u>アタザナビル硫酸塩の作用を減弱するおそれがある。</u></td> <td><u>本剤の胃酸分泌抑制作用によりアタザナビル硫酸塩の溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下することがある。</u></td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	<u>アタザナビル硫酸塩</u> (レイアタツ) [2.2参照]	<u>アタザナビル硫酸塩の作用を減弱するおそれがある。</u>	<u>本剤の胃酸分泌抑制作用によりアタザナビル硫酸塩の溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下することがある。</u>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リルピビリン塩酸塩 (エジュラント) [2.2参照]</td> <td>リルピビリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。</td> <td>本剤の胃酸分泌抑制作用によりリルピビリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピビリンの血中濃度が低下することがある。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	リルピビリン塩酸塩 (エジュラント) [2.2参照]	リルピビリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。	本剤の胃酸分泌抑制作用によりリルピビリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピビリンの血中濃度が低下することがある。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																					
<u>アタザナビル硫酸塩</u> (レイアタツ) [2.2参照]	<u>アタザナビル硫酸塩の作用を減弱するおそれがある。</u>	<u>本剤の胃酸分泌抑制作用によりアタザナビル硫酸塩の溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下することがある。</u>																					
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																					
<u>アタザナビル硫酸塩</u> (レイアタツ) [2.2参照]	<u>アタザナビル硫酸塩の作用を減弱するおそれがある。</u>	<u>本剤の胃酸分泌抑制作用によりアタザナビル硫酸塩の溶解性が低下し、アタザナビルの血中濃度が低下することがある。</u>																					
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																					
リルピビリン塩酸塩 (エジュラント) [2.2参照]	リルピビリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。	本剤の胃酸分泌抑制作用によりリルピビリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピビリンの血中濃度が低下することがある。																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リルピビリン塩酸塩 (エジュラント) [2.2参照]</td> <td>リルピビリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。</td> <td>本剤の胃酸分泌抑制作用によりリルピビリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピビリンの血中濃度が低下することがある。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	リルピビリン塩酸塩 (エジュラント) [2.2参照]	リルピビリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。	本剤の胃酸分泌抑制作用によりリルピビリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピビリンの血中濃度が低下することがある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リルピビリン塩酸塩 (エジュラント) [2.2参照]</td> <td>リルピビリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。</td> <td>本剤の胃酸分泌抑制作用によりリルピビリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピビリンの血中濃度が低下することがある。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	リルピビリン塩酸塩 (エジュラント) [2.2参照]	リルピビリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。	本剤の胃酸分泌抑制作用によりリルピビリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピビリンの血中濃度が低下することがある。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>リルピビリン塩酸塩 (エジュラント) [2.2参照]</td> <td>リルピビリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。</td> <td>本剤の胃酸分泌抑制作用によりリルピビリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピビリンの血中濃度が低下することがある。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	リルピビリン塩酸塩 (エジュラント) [2.2参照]	リルピビリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。	本剤の胃酸分泌抑制作用によりリルピビリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピビリンの血中濃度が低下することがある。			
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																					
リルピビリン塩酸塩 (エジュラント) [2.2参照]	リルピビリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。	本剤の胃酸分泌抑制作用によりリルピビリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピビリンの血中濃度が低下することがある。																					
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																					
リルピビリン塩酸塩 (エジュラント) [2.2参照]	リルピビリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。	本剤の胃酸分泌抑制作用によりリルピビリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピビリンの血中濃度が低下することがある。																					
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																					
リルピビリン塩酸塩 (エジュラント) [2.2参照]	リルピビリン塩酸塩の作用を減弱するおそれがある。	本剤の胃酸分泌抑制作用によりリルピビリン塩酸塩の吸収が低下し、リルピビリンの血中濃度が低下することがある。																					

<裏面につづく>

改 訂 後			改 訂 前		
10.2 併用注意(併用に注意すること)			10.2 併用注意(併用に注意すること)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
ポリコナゾール	<略>	<略>	ポリコナゾール	<略>	<略>
		削除→	ネルフィナビルメシル酸塩	ネルフィナビルの作用を減弱することがある。	相互作用の機序は不明である。ネルフィナビルの血中濃度が低下することがある。
クロピドグレル硫酸塩	<略>	<略>	クロピドグレル硫酸塩	<略>	<略>

2. 改訂理由

1) 「2. 禁忌」及び「10.1 併用禁忌」の項のアタザナビル硫酸塩に関する記載を削除（自主改訂）

アタザナビル硫酸塩の国内での製造販売中止（経過措置期間満了）に伴い、削除しました。

2) 「10.2 併用注意」の項のネルフィナビルメシル酸塩に関する記載を削除（自主改訂）

ネルフィナビルメシル酸塩の国内での製造販売中止（経過措置期間満了）に伴い、削除しました。

- 武田テバDIセンター 0120-923-093 受付時間 9:00～17:30(土日祝日・弊社休業日を除く)
- 医療関係者向けホームページ <https://www.med.takeda-teva.com>

本改訂につきましては、医薬品安全対策情報（Drug Safety Update）No. 337（2025年7月発行）に掲載される予定です。

最新の電子添文は医薬品医療機器総合機構ホームページ（<http://www.pmda.go.jp/>）に掲載されます。また、専用アプリ「添文ナビ」よりGS1バーコードを読み取る事で、最新の電子添文等をご参照いただけます。



(オメプラゾール腸溶錠「武田テバ」) (01)14987123000113